

校長室だより

春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

そっ啄同時

毎年のことながら、この時期になると必ずこの言葉が頭に浮かびます。

鳥が卵からかえる時、ひなは卵の中から殻をつつき、親鳥は外から卵の殻をつつきます。この様子を「そっ啄」または、「そっ啄同時」と言います。

この言葉は、教える者と教わる者との関係を表す時にも使われます。求めようとする者の心と授けようとする者の心一つになった時、その効果はきわめて大きくなります。

あと数日後に控えた運動会に向けて、どの学年も子どもたちの動きの精度が高まってきました。初めはばらばらだった動きが、いつの間にかそろいはじめ、美しさが増してきました。

先生たちの指導に熱が入ります。指導を受ける子どもたちの目にも真剣さがまします。

「そっ啄同時」まさにこの時。

笑顔にまさる化粧なし

何気なく開いた本で見つけた言葉です。高校の卒業式の日、担任の先生が女子生徒に贈られた言葉だそうです。

「笑顔にまさる化粧なし」

確かに

笑顔は私の心を引きつけ

私の心を包み込みます。

笑顔はまるで私の全てを許してくれるよう

私の心を解放してくれます。

確かに

誰もが笑顔に魅せられる。

以前勤めていた学校には、時々電車とバスで通勤していましたが、バスの中で熱心にお化粧をしている女子高校生を時々見かけました。

この一言、彼女たちにも聞かせたい。



前頭葉を鍛える

前頭葉というのは、私たちの脳の前方にあたる部分で、一番人間らしい部分をつかさどる脳です。「やる気を起こす」「考える」「コミュニケーションをとる」「感情を抑え理性的に行動する」「新しいものを学ぶ」。これらが前頭葉の働きです。

発想豊かな人、人との関係をうまく保つことのできる人、穏やかで理性的な人、いつも生き生きしている人、こんな人たちは前頭葉がよく働いている人たちです。

東北大学の川島先生によると、前頭葉を鍛えるためには、次の3つのことが効果的なのだそうです。

- 読書をする(特に音読)
- 手で文字を書くこと
- やさしい計算を解くこと

どうやら、昔ながらの「読み」「書き」「計算」は、脳の訓練に最適な学習のようです。

ちなみに、ゲームをしている時は、前頭葉は全く働いていないそうです。前頭葉を働かせることを意識しながら、子どもたちの学校生活、家庭での生活を見直してみたいものです。

日曜日天気になあれ!

